

## 地域と幼稚園と保護者が手を取り合って ～トライアングル大作戦～

愛荘町	活動名：愛荘町地域学校協働本部	秦荘幼稚園 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：25人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

園児も家庭でゲームや動画視聴等に費やしている時間が多い実態があり、その時間をわずかでも減らす方向へ誘えないかとの思いで、月一回の園庭開放と、お迎えの際に図書館に寄って絵本等を借りる取組を推進した。結果として、園庭開放の日には、通園バスの利用者もバスの利用をやめて園庭開放を活用される姿があり、子どもたちが園でできるようになったことを保護者に見てもらっている様子が伺えた。子どもたちにとっては、保護者に認められて、大きな自信につながっている。また、図書館利用の方も、12月に実施した保護者アンケートでも、子どもから図書館に連れて行ってほしいというようになったとの意見もあり、図書館を利用することが生活の一部になればと、願っている。ささやかな取組であるが、呼びかけにより園庭開放で子どもたちとともに過ごしてもらったり、図書館利用をしてもらったりと、メディアに接している時間を、有意義な時間へと変換できていることを、進歩ととらえている。



【 稲刈り体験 】

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・田植え、稲刈り体験、おにぎりパーティー  
5月に田植え体験、9月に稲刈り体験をした。【年長・体験、年中・年少・見学】  
また、収穫したお米を使っておにぎりパーティーを行った。貴重な体験とおしてお米ができて、白飯になるまでの過程を知る機会となった。
- ・お話広場  
月2回、ボランティアの方が各クラスに絵本の読み聞かせをしてくださった。地域の方が絵本を読んでくださることで親しみを感じ、楽しみにする姿があった。
- ・じゃがいもの栽培とさつまいもの栽培  
ボランティアの方と一緒に畑の整備や苗植え、いもほりを行った。地域の方が教師役となり子どもたちに指導して下さったり、収穫したいもを使って調理や食育指導をしたりして下さったことで、カレーパーティーやおいもパーティーができ、今後の保育に活かすことができた。
- ・きらりんデー  
園庭や畑の除草作業、花植え、木の名札作り、衣装作りのサポート、玩具作り等の活動を含め、年間をとおして園の環境を整える活動をしてくださった。

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・実施に当たっては、地域学校協働活動推進員が中心となって園側や地域の方と連携を取り合い、活動の調整を行った。
- ・昨年度から園の玄関に関わってくださったボランティアの方の写真を掲示したことで、子どもたちや教職員も繰り返し名前や顔を認識することができた。
- ・稲刈りでは、保護者ボランティアを募り、地域の方と連携を密にしたことで鎌を使つての活動だったが、安全に実施することができた。

### ■ 事業の成果

- ・毎年栽培しているさつまいもに加えて、収穫したじゃがいもやお米を使って食べる経験ができたことで、教職員だけでは指導できない貴重な体験活動も地域の方のおかげで行うことができた。また、おいもやさん等の経験をしたことで、子どもたちが遊びの中で経験を活かして遊ぶ姿があった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・子どもたちが様々な活動とおして地域の方とふれあい、保育活動が豊かになるように地域・園・保護者が連携していく必要がある。また、ボランティアの人材確保や新たな人材の開拓を検討し、様々な角度から子どもたちの育成のために関われる仕組み作りを行っていく。

### ■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・今後も推進員を中心に地域と園、保護者が連携をし、子ども達に豊かな経験ができるように進めていきたい。



【 おいもやさん 】

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( PTA、担任 )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

愛荘町	活動名:愛知川幼稚園地域学校協働本部	愛知川幼稚園 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和3年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:16人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・園経営の基本方針と目標・ビジョンの共有について
- ・3つの活動の柱“園環境の充実”、“体験活動の推進”、“保護者ボランティアの活性化”の具体的な取組について
- ・地域の特色とそれをいかした協働活動、人材の発掘について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・壁面制作  
保護者ボランティアが季節にあった玄関壁面を制作してくださっている。  
ボランティアが全て作るのではなく、子どもたちの作品も壁面の一部として飾っているなど工夫したものとなっている。
- ・一人一鉢栽培  
地域の方が土づくりから始め、種から丹精込めて育てられた花の苗を全園児分持ってきてくださり、子どもたちに植え方を教えてくださっている。  
子どもたちは自分の鉢に植えて、大切に育てている。
- ・砂場の掘り起こし、立て看板の修理  
地域企業の協力を得て、固まった砂場の掘り起こしや立て看板の修理をしてくださった。  
砂場の掘り起こしでは、ふかふかの砂に大喜びの子どもたちだった。
- ・園庭の除草作業  
運営委員会委員や保護者ボランティアを中心に園庭の除草作業をしていただいた。時間を登園時に設定し、登園した子どもたちや保護者も加わり、ほのぼのした作業となった。



【地域企業による立て看板の修理】

■ 実施に当たっての工夫

- (1)今年度の目標の1つ「年間計画のもと、和気あいあいと楽しみながら活動する」に向けて
  - ・長く続けていくために“できる人ができる時にできることから”をモットーに無理なく活動を進めた。
  - ・協働活動室「ひだまりルーム」を開設し、活動前後にゆっくり交流できる場と機会をつくった。
- (2)保護者への周知および協働活動の推進に向けて
  - ・活動を随時ホームページに掲載した。
  - ・推進員による広報「笑ちがわ」を作成し、学期ごとに活動を報告できた。

■ 事業の成果

- ・協働活動に子どもの作品を活かしたり、子どもが作業に参加したりするなど、子どもの力や心を育む活動となった。
- ・運営協議会委員や推進員をはじめ地域の企業や地域にお住まいの方などたくさんの方たちの力によって充実した活動ができた。
- ・保護者ボランティア活動が充実し壁面制作に加えて、月2回保育用品製作、リユース品販売会等の幅広い活動ができた。
- ・地域の方に来ていただくことで教職員だけでは指導できない貴重な体験活動ができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・より地域に開かれた園を目標として、地域の方々力を生かし充実した活動にしていきたい。
- ・今年度は運営委員や地域推進員を中心に地域の方に声をかけていただき、たくさんの方に来ていただいた。今後はさらにボランティアの人材確保のために人の輪を広げていきたい。
- ・地域の特色をいかし、子どもたちが地域の良さや特色に気付ける体験を一層取り入れていきたい。



■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

園長 副園長 地域連携担当教職員 その他(学級担任・PTA)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

## みんなでつくる みんなの学校 秦荘東小学校

愛荘町	活動名：秦荘東小学校地域学校協働本部	秦荘東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和3年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:70人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

・子どもたちが主体的に活動できるように、ボランティアの方にどのように関わっていただくかを考えていくことが必要。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・学校支援活動

①学習支援

【農業体験】稲の栽培(5年)・・・田植え・稲刈り・脱穀

やまいも栽培(3年)・・・植木鉢での栽培

野菜を育てよう(2年)・・・育て方のコツを教えていただく

農業ボランティア、JA、親族の方、役場の協力を得て、学習を進めている。特に、やまいもは、愛荘町の特産でもあり、やまいも振興会の指導のもと、郷土学習を兼ねて行った。

【キャリア教育】

動物愛護、命の大切さやお仕事されている方の想いをお話しいただいた。(6年)

保護猫カフェ・・・ネコリパブリック滋賀の方の協力を得て活動する。(希望者)

②環境整備

【運動場とその周辺の除草など】

・図書ボランティア【読み聞かせ】 毎週火曜日 朝

・郷土学習【社会科】 3年(昔の生活)・・・歴史博物館の方に昔の生活や道具について説明を受ける。

6年(第二次世界大戦)・・・遺族会の方より戦中や戦後の生活について聞き取りを行う。

6年(雅楽)・・・日本に古くから伝わる音楽に親しむ目的で、千鳥会(6名)の方に曲を演奏していただいたり、楽器体験をさせていただいたりした。



【 田植え (5年) 】



【 野菜を育てよう(2年) 】

■ 実施に当たっての工夫

・保護猫ボランティアに関しては、キャリア教育で命の大切さについて学習したことをとおして、その内容に関わる活動をパワーポイントで紹介をした。「自分もやってみたい」という気持ちを子どもたちが持ち、活動につながっている。

・3・3参観デー(各月3, 13, 23日)の実施を12月より行い、地域保護者が学校に来ていただく機会を持った。(顔、名前を知る)

■ 事業の成果

地域の人々と関わり、一緒に活動することで、学習内容の理解を深めることができた。また、2年生の「野菜を育てよう」の学習では、「水やりをしっかりとやろう。」「ちゃんと育てようしっかりと世話をしよう。」などの心情も育ち、教えてもらったように、率先して水やりをし、成長を楽しみにしている姿が見られた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

農業体験や登下校の見守りなど、継続してボランティアに参加してくださっている方が多いが、年々高齢になられ、活動の継続が課題となっている。推進員の方たちの協力もあり、各種団体や行政など幅広く地域の方の支援をいただいているが、保護者の参加は少ない。今後、在校生の保護者や祖父母への活動の参加を呼びかけ、地域・保護者で子どもの成長を支える活動の充実を進めていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(教務主任)

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

愛荘町立秦荘西小学校 地域学校協働活動 「手と手(てっとうて)」

愛荘町	活動名： 秦荘西小学校地域学校協働本部	秦荘西小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務0人) ボランティア登録数：28人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 ■その他(民協OBつながり隊)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

幅広い地域住民の参画によって、地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるという視点に立ち、秦荘西小学校の特色を生かした事業の進め方について意見交換した。地域の方の参画を期待する教育活動の内容や支援の内容について共通理解した。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・秦西まつり

昨年度、学級ごとにアイデアを凝らしたブースを作り、違う学年のブースを回りながら交流することは楽しい思い出になった。2回目の今年は、子どもたちが実行委員会を立ち上げて取り組んだ。学級のブースの他に保護者や地域の方もブースを作るのに協力してくださった。(○昔遊び ○ボードゲーム ○ダンス♪ ○輪投げ ○本の名前カルタ&大きなツリー)

それぞれのブースでは、周りに華やかな飾りがしてあり、その中で仕方やコツを教えてもらいながら、和やかな雰囲気の中で交流することができた。来年度もこの取組が続き、さらにブースも増えてほしいと考えている。

・ひだまりルーム開設

毎週火曜日の午後1時から4時45分まで。カードゲームやジェンガ、オセロなど少人数で遊ぶことができ、低学年や室内遊びが好きな子がよく来ている。

・ぶどう復活プロジェクト

以前は、たわわに実ったぶどうの木も老木となったため、新たに苗木を植えて地域の方に手伝っていただきながら世話を続けている。秋には全校みんなで給食の時間に、甘いぶどうを食べることができた。



【 ボードゲーム 】



【 昔遊び 】

■ 実施に当たっての工夫

・地域学校協働活動推進員から募集案内を出していただき、協力内容を具体的に挙げ、支援していただける活動を回答していただいた。依頼窓口は原則として地域学校協働活動推進員にまとめ、ボランティアの皆様との連絡調整をしていただいた。

■ 事業の成果

・地域学校協働活動推進員を中心として、地域や保護者との連携を密にすることで、子どもたちの体験的で主体的な活動を安全に実施することができた。  
 ・様々なボランティアにたくさんの方が来校され、その方々と親しげに話す様子やあいさつを交わす児童が増え、地域の方々とのつながりがもてた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・ボランティアの高齢化が進みつつあるので、新たな人材の開拓が必要。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

秦荘西小学校ホームページアドレス <https://www.town.aisho.shiga.jp>>04\_hatanisisyou

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(該当学年教員)

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

**地域とふれあい・つながりあい…みんなでつくろう「愛がいっぱい愛知川小」**

愛荘町	活動名 : 愛知川小学校地域学校協働本部	愛知川小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和3年度 地域学校協働活動推進員等数1人 ボランティア登録数:23人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■クラブ活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校支援ボランティア公式LINEの活用について  
→「愛知小をもりあげ隊V」の名前で公式LINEアカウントを作成し、ボランティア登録をしてくださった方に加入していただくよう検討した。ボランティア活動に関する情報を発信することで、日程調整や参加者の確認に役立った。
- ・新聞の折り込みチラシを活用した情報発信について  
→前年度同様、学校運営協議会委員の方の協力を得ながら、新聞の折り込みチラシを活用してボランティア活動に関する情報を発信するよう確認した。
- ・子どもと地域をつなぐ活動について  
→スクールガードなど、地域で子どもたちのために活動してくださっている方は多数おられるが、子どもたちとの面識がないため挨拶が返ってこなかったり、注意が素直に聞けなかったりと課題が見られるため、子どもと地域をつなぐ活動について検討した。

■ 地域と学校が協働した活動と実施に当たっての工夫

- ・あい愛ルーム(ボランティアルーム)の活用  
月に1回あい愛ルームに地域の方を招き、イベントを開催している。パネルシアターや人形劇、クイズ大会の開催など地域の方の得意なことを生かしたイベントを開催することで、地域の方への憧れにつながるよう心掛けた。
- ・トイレ掃除や花壇の整備を中心とした協働活動の実施  
昨年度、地域ボランティアの方が行ってくださっていたトイレ掃除や花壇の整備に子どもたちも参加した。子どもたちが実際に活動することで、学校や自分たちのために活動してくださっている方に感謝する気持ちを育んだり、地域の方との交流を深めたりできるよう心掛けた。
- ・ふれ愛フェスタ2025の実施  
地域の方が開いてくださった昔遊び、折り紙、クラウン観劇、合唱、リズム体操、墨を使った作品づくり、カロム、新聞サンダルづくり、クイズの9つのブースの中から児童一人ひとりが興味のあるものを選択し活動した。自分の得意なことを生かして活動される地域の方への憧れにつながり、地域の方と交流を深めたりできるよう心掛けた。



【 あい愛ルームの様子 】

■ 事業の成果

子どもたちから「〇〇さんや」と地域の方に関わりに行く姿が見られたり、地域の方から「学校に行く機会が増えて良かった」「子どもたちから声を掛けてくれるようになった」といった声をいただいたり、地域の方と子どもたちとのつながりを深めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

今年度、学校運営協議会委員の方と子どもたちが話をする機会を設けたが、3学期になってしまった。次年度は、もっと早い時期に学校運営協議会委員の方と子どもが話す機会を設定し、子どもたちの思いを地域協働活動に反映できるようにしていきたい。



【 ふれ愛フェスタ2025の様子 】

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会の開催日を学校行事や参観日に合わせ、子どもたちの様子を参観し、意見を交流する場を設定している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

**つながりを大切に！地域を盛り上げる！ 「えちひが 子ども・地域ボランティア活動」**

愛荘町	活動名：愛知川東小学校地域学校協働本部	愛知川東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：30人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [ ]		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（後援会「東輝会」）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

・学校支援ボランティア活動の充実について

学校の教育活動を支え、子どもたちを育てる応援団として、どのような形で取組を進め、地域の力をいかしていくのか協議。また、子どもたちとともに地域を盛り上げていく取組と、本校創立50周年に向けた取組についても協議。学校のニーズと地域のボランティアのマッチングを図り、活動を拡充していく必要があることを確認。支援や補助のボランティア活動に留まらず、子どもと共に活動や交流する機会を増やしていき、継続的かつ発展的な取組とすることを共通理解した。



【絵本プレゼント】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

・「えちひが 子ども・地域ボランティア活動」

子どもや地域の方との「つながり」を大切に地域を元気にすることを目的とし、子どもたちと地域の方が共に活動する「えちひが 子ども・地域ボランティア活動」を立ち上げた。



【あいさつ運動】

【取組事例】

- ◆リユース品販売・・・不要になった体操服などを集めて販売。収益は、能登半島地震の被災者への義援金に。
- ◆花壇づくり・・・学校創立50周年に向けて花壇を新設。県立甲良養護学校から提供を受けた花の苗を定植。
- ◆「つながり場」づくり・・・地域の方と子どもたちがつながる場所であるボランティアルームを飾りつけ。
- ◆絵本プレゼント・・・読まなくなった絵本を集めて修繕し、地域の幼稚園や保育園に寄贈。
- ◆あいさつ運動・・・「社会を明るくする運動」と協働して、地域の方と校門に立ってあいさつを呼びかける。

■ 実施に当たっての工夫

「えちひが 子ども・地域ボランティア活動」のポイントは次のとおり。

- ① 子どもと地域の方が力を合わせてボランティア活動に取り組む。
- ② ボランティアへの参加は自由。やりたい時にやりたいことを、やりたい分だけ参加する。
- ③ 町社会福祉協議会と連携してボランティアに取り組んだり、案内や広報活動などで協力をしたりする。
- ④ 「愛荘町地域活動応援ポイント制度」を活用し、町全体のボランティアへの機運を高める。
- ⑤ ボランティアの企画者は、子どもたちの学びにつながる内容であれば、子ども、教職員、PTA、地域の方など誰でも可能。



■ 事業の成果

様々な活動の中で、子どもたちと地域の方との多くの「つながり」が生まれ、学校に活気が出てきた。参加した子どもたちの中には、みんなの役に立っていることへの充実感を感じて、他の学校生活の向上につながるケースがあった。また、学校に来る機会がなかった地域の方は、学校や子どもの様子を知るきっかけとなり、継続的に学校を応援してくださるようになった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

ボランティア参加者が広がり、より多くのつながりが生まれるように、機会の確保や内容の充実、広報の強化等を図っていく。また、令和7年度に迎える創立50周年を地域の方とともに迎えられるように進めていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

愛荘町	活動名:秦荘中学校地域学校協働本部	秦荘中学校	: ■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和3年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:12人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 □ボラ・体験 □郷土学習 □その他[ ]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域学校協働活動の協力者の募集をどのように地域に知らせ定着した人材バンクを広げるにはどうすればいいか。
- ・大学生をはじめとする若いボランティア人材を活用したいが、学業等があり予定が合わなかったり、人脈がなかったりするのではどうしていくか。
- ・5年前と今年度起こった交通事故を踏まえて、「見守り隊」の拡充による生徒の意識改革や道路等の環境面の整備

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・2年生職場体験学習における事業所への依頼と受け入れ。
- ・社会を明るくする運動に生徒会も参加。
- ・学力補充へのボランティア(学生ボランティアを含む)の取組。
- ・図書館司書による読書指導や夏の読書案内。
- ・地域イベント(マンスリーコンサート)への参加。



【 地域イベントへの依頼参加 】

■ 実施に当たっての工夫(できるだけ多くの地域人材の参画等)

- ・中学生が頑張ろうと思っている学習面を後押しできるように学習ボランティアを模索したり、2年間続けた合唱コンクールを来年度も頑張ろうと思えるように地域在住の専門の方に審査してもらったりした。
- ・校区に限らず広く多方面の方々が中学校と交流・連携できる内容を探ってきた。
- ・生徒と年齢的に近い学生ボランティアと気軽にふれ合い学力向上を図ってきた。

■ 事業の成果

- ・安全教育の視点で、生徒会がヘルメット着用の重要性の動画を作成したり、民生委員・児童委員の協力を得て、「見守り隊」の拡充をしたり、交通安全についての大切さについて深く考えたりすることができました。
- ・校長からの今後の方向性が出た中で、生徒や学校、地域ができる事を探して改善に向けて考えることができた。



【 職場体験学習への参加 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今後の事業の継続に向けて学生ボランティアの充実が大きな課題である。学生ボランティアの充実に向けて、教育実習できた学生にボランティア活動への参加の協力などをしていきたい。
- ・地域の中で活動を重ねる中で、地域のよさに触れ、地域からも協力できる内容に理解を深め、少しずつ学習内容まで参画を通じて、生徒に自信を持たせ愛荘町に愛着と誇りを感じさせたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会の開催前に生徒の授業参観や教科等でのボランティアの協力を得て生徒も教職員も地域も連携が強くなっていくように期待している。今後も、よりよい生徒への学力・社会性の向上を深める協議ができた。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者(地域連携担当教職員)

## 知を愛し 人権を尊び 連帯に生きる愛知中生・学校運営協議会(CS)の取組

愛荘町	活動名:愛知中学校地域学校協働本部	愛知中学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和3年度(学校運営協議会設置) 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:49人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

・令和3年度より、本校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が設立された。初年度より熟議を重ね、「学力を支える」と「学校美化を推進する」ことに取り組むことにした。今年度は、子どもたちの中学校生活の向上のため、①環境部会 ②読書部会 ③学習部会 ④お助け部会 の4部会を設置した。それぞれの部会では、地域からのボランティアの協力を得てさまざまな活動をしている。

・今年度の各部会の活動は以下のとおりである。

- ① 環境部会 …四季の花を咲かせる、美化活動、除草作業
- ② 読書部会 …学級文庫「E-book」の設置、読書週間の育成
- ③ 学習部会 …日本語指導教室へのボランティア支援
- ④ お助け部会…学校行事への支援(体育大会・卒業展など)  
教育活動の支援(ゲストティーチャーの紹介など)

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

#### (1)家庭科学部の生徒と環境部会によるプランター飾りの製作

8月28日(水)に、家庭科学部の生徒と環境部会のメンバーとが一緒にプランターに飾るピックや昆虫づくりの活動を行った。9月17日(火)にはそれらの作品をプランターに飾った。下校する生徒が立ち止まって書かれてあるメッセージを読む姿が見られた。



【 家庭科学部との協働活動 】

#### (2)学校授業支援

学校教育活動の支援として、コミュニティ・スクールの「お助け部会」が核となり、地域から講師をボランティアとして招聘し、2年生のキャリア教育の授業を支援した。2年生は職場体験を控え、真剣に話に耳を傾けている様子が見られ、働くことの意義ややりがいなどを講師の話から感じ取っていたようである。



【 2年キャリア教育の授業支援 】

### ■ 実施に当たっての工夫

・子どもの主体的な力を育むための工夫

部会のメンバーが生徒の委員会活動に参加して活動について説明するなど、生徒とともに活動を推進できるようにしている。

・新たな地域人材の発掘やつながりづくりのための工夫

CSだよりの発行により、活動の紹介や地域に協力の呼び掛けを行っている。

### ■ 事業の成果

・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の日頃の活動が評価され、「令和6年度明るい家庭・地域づくり推進大会 愛荘エデュケーションアワード」にて表彰を受けた。より一層CS活動の取組を充実させていきたい。

・昨今の教育課題は、学校の中や学校の指導機能をフルに活用しても、解決しきれないものが多くなってきている。その解決の糸口として、学校運営協議会とPTAが連携することで、地域と家庭が連携した子育てができる環境が整う可能性を見いだすことができた。今後の活動をより拡げていきたい。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

#### (1)学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員、学校ボランティア人材の確保

・学校運営協議会の事業の継続や引き継ぎが円滑にいくよう、学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の人材を確保したい。

#### (2)活動予算の確保

・活動によっては予算が必要なものもあり、持続可能な活動とするためにも、ある程度の予算を確保したい。

### ■ その他(学校運営協議会との協働等)

・学校運営協議会の会議を平日の勤務時間内に設定することにより、教職員の働き方改革を支援していただいている。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(主幹教諭)

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )